USA All Star Challenge Competition 2017 / USA Challenge Competition 2017 WEST

◆クラブチーム対象◆　審査対象外部門(Half-Time USA)　ルール

大会参加指針を理解した内容とし、安全面においては競技部門に準ずるものとする

● **出場対象**
・3名以上で構成されているチーム（年齢・性別不問）
・人数の上限はないが演技フロア内で安全に演技が行える範囲内であること

● **演技時間**
・【Half-Time USA】2分00秒以内
・チーム名が読み上げられたら、メンバー全員で速やかにフロアに入場すること
・フロアへの入場・退場は、各30秒以内に速やかに行うこと

● **演技内容**
・使用楽曲は事前に歌詞内容を確認し、大会参加指針に沿って、適切であるかを見極めること
※大会当日に大会運営側から使用楽曲の歌詞内容について確認要請があった場合には、
その場で歌詞内容を確認できる資料（外国語の場合は、訳詞・原文の両方）を提出して頂きます。
尚、訳詞内容のみならず、下品なスラングの入った楽曲の使用は禁止です。
・音楽や振り付けは、全ての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでいなければならない

● **演技フロア**
・奥行15m×幅20mとし、縦横の中央にラインを引く（白枠、縦横はその上に赤ライン）
・演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止（チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など）
・メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは不可
・全ての手具の設置は演技フロア内で行うこと（但し、使い終わった手具を投げ、演技フロア外に出るのは構わない）
・演技者以外のフロアへの立ち入り及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
（演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出し等）

項　目	内　容
衣　装 アクセサリー	自由とするが、年齢に相応で全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること
履　物	自由とする （靴下やタイツのみは禁止 ・ 床を傷つける危険があるものは不可）
道　具	自由とするが、演技中に使用する全ての手具・大道具は出場者自身でフロア内に運び入れ・設置・撤去できるものでなければならない
構　成	自由とする （但し、以下タンブリング・スタンツ・ダンスリフトの内容は遵守すること）
セーフティ	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 手具・衣装・その他アクセサリー・装飾品は演技中に落下しないように配慮しなければならない ③ 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギプス・コルセットをする際は適切な素材でカバーすること ④ 手に体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転） ⑤ 立位、逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るように行うこと ⑥ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るように行うこと
タンブリング	タンブリング（アクロバティック、体操的な技。フロア上から始まり フロア上で終わる個人で行えるもの）は、**実施できるが推奨されない** ＜有効技＞に限り実施可　（以下①～③を遵守しなければならない） ① 静止・歩行から実施可（走り込み・飛び込み・ホップなど勢いをつけてからは不可　※例外：ロンダート） ② タンブリングは単発・コンビネーションともに実施可 ③ タンブリング中の人の上や下を、タンブリングしながら通過するのは禁止 **＜有効技＞** 前転、後転、ショルダーロール、側転、チェストロールダウン、倒立、頭支持倒立、立ちブリッジ、 前/後方転回、ロンダード、ストール、キップアップ ※有効技は片手での実施も可 ※手具を持った手に全体重をあずける動作は実施不可（前転・後転は持ったまま実施可） **＜禁止技＞** 上記以外全て　※【補足】①参照
スタンツ リフト	① スタンツの実施不可 （人に完全に体重を乗せ、両足が床から離れる動作） ② ダンスリフトの実施不可 （他者を持ち上げる・下ろす、または他者に持ち上げられる・下ろされる動作） ③ 人に体重を預ける・寄りかかるなどは実施可 人の上を通過する行為（背中を転がる・馬とびなど）は、補助されず自力で行う場合に限り実施可能

【補足①】 タンブリング禁止技・・・・・・・・ 有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技
＜例＞ 前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り（伸身含）、飛び込み前転、側方宙返り、ヘッドスプリングなど